

駿東新聞

第18号
H20.7月

発行人
医療法人社団
すんとおる



初めまして
外務スタッフの
山田 佳子と
申します。

いつも駿東新聞をご愛読頂きありがとうございます。今回は6月に
入社された看護師の山田佳子さんの記事です。フィットネス職員の
山田佳子さん〜女医達〜。ここには似た名前や同じ名前の職員が数名
います。気になる方は探して見てください。(笑)

「駿東整形外科をどのように作りあげてゆきたいか」

私は駿東整形外科で勤務することになり、どんな患者様でも
安心して来院できるようにしたいです。

患者様は小児なみの方やお年寄りまで幅広い方が来院します。
お年寄りの時は目線を同じ高さにしてやさしく聞いてあげます。子供は
不安や恐怖感が大きいと思います。何をされるかわからず泣いて
しまう子もいます。お父さんやお母さんは子供が泣いてしまうと迷惑に
なると思い恐縮してしまいます。そんな気持ちにならずに安心して来院
してほしいです。お年寄りなどもしっかり話を聞いてわからないような
ことがあれば紙に書いてあげたり何度も説明したりしたいです。

膝が痛い、腰が痛いなど原因はそれぞれ違うと思います。痛みの
程度も違います。
話を聞いてもらっただけで楽になった。



と、以前言われたことがあります。小さい頃からか「面倒だ」とか
言わずに、どんな患者さんに文句でも話を聞くことのできる看護師
になりたいです。

あといつも清潔にすることを心がけたいと思います。院内は
いつも清潔にし、ゴミなどが落ちていけばすぐに捨てる。
身だしなみもしっかりと。いつも笑顔で文句ができる。患者さんと呼ぶ
時には大きな声ではっきりと。何か聞かれた時にはしっかりと
答えられるようにする。あたり前のことが「職場」になれてくると
出来なくなる時があります。患者さんは痛みなどが「あり不安な
気持ちで来院してきます。その不安を取り除いてあげられるよう
になりたいと思います。

あいさつも自分から積極的にできるようにしたいです。しっかり相手の
方を見て笑顔であいさつできるように心がけます。

どのような病院を作りあげていくかは難しい問題ですが、
患者さんが、またあの病院で診てもらいたいと思ってもらえるような
病院にしたいと思います。

メディフィット・スポート 当医院 2階

- ◇ (メディカルフィットネスとは...)
- ◇ 病気の予防や改善のために、医師と専門のスタッフがあなたの運動メニューを作成します!!
- ◇ (当医院 2階 リハビリ室の隣は 何をするといい??)
- ◇ 少人数、会員制の運動施設です。
- ◇ 一般の方から高齢の方まで幅広い層で安全に運動ができています。
- ◇ 一人一人に適切な運動指導を行います。
- ◇ ※現在リハビリに通っている方でも、平行してトレーニングを行っている方もいらっしゃいます。ぜひ、ご相談ください!!
- ◇ 医師と健康運動指導士があなたをサポート!!